

令和2年度 第5回 伊丹市立笹原小学校 学校運営協議会議事録

- 1 日時 令和 3年 2月17日 (水) 10:00~12:00
- 2 場所 笹原小学校 CSルーム
- 3 出席者 協議会委員: 宮内会長、芦原委員、渡瀬委員、黒見委員、森木委員、尾矢委員、谷川委員  
荒川委員、後野委員、大西委員、立花委員、民谷委員、多田委員、黒谷委員  
今村委員  
教職員 : 村上校長  
オブザーバー: 伊丹市立伊丹高等学校 山本CSディレクター  
司会進行 : 荒川CSディレクター(委員)

4 内容

\* 開会 あいさつ 宮内会長

- ・教職員との交流会にて出された要望等に次年度どう進めていくか、本日の会議にて方向性を決めていきたいと思うので、ご協力を宜しく願いたい。

村上校長

- ・交流会では教職員が多くの要望等を出さして頂いたが、実態を率直に言える雰囲気醸成されてきていると感じた。双方で進めていけると良いのでご協力をお願いしたい。
- ・伊丹市立伊丹高等学校の校長先生からご依頼があり、本日の会議に山本CSディレクターさんが参加されていると紹介。

山本CSディレクター

- ・笹原校区に在住し、笹原小の素晴らしい取組を拝見しており、市立伊丹の学校運営協議会の参考にさせて頂きたとの思いですので宜しく願いたい。

\* 協議内容

(1) 交流会を振り返って

① 令和2年度 教育活動を振り返って (席上配布 笹小だより 2月17日号参照)

- ・本年度はコロナの影響で、3か月間の休校、主だった学校行事の中止で思い通りの教育活動が行えなかったのが残念。
  - ・子供たちのせめてもの思い出づくりに代替行事を実施。(修学旅行、自然学校、体育大会の代替)
  - ・音楽会は歌うことや楽器を使うことが自粛されている為、今年度は中止を余儀なくされた。
  - ・参観は実施回数を減、更に地区ごとや時間、日ごとに分散しての実施。(地区別分散参観2日各2時)
- \* コロナの影響もある中、例年実施されてる学校評価の結果を基に昨年度との比較で増減のあった項目を中心に説明がなされた。

(質問事項の20項目については、経時変化を見ていく為に同じ質問を毎年継続実施、1項目を追加し21項目を行なった。その他に自由記述を設問。)

概ね、昨年度と変化が無い回答であったが、5ポイント以上の増減があった項目が3項目あった。

減 : ⑨家庭では学習や食事の時に姿勢に気をつけていますか。(−10ポイント)

減 : ⑱保護者や地域の方が授業や懇談会に参加する機会を十分に設けていますか。(−5ポイント)

増 : ⑩いじめや心の問題などに適切に取り組んでいますか。(＋5ポイント)

- ・⑨では、緊急事態宣言等で在宅時間が増え、子供たちと向き合う時間が多くなった事で増えたのではないかと推測される。学校としても今後注意しながら指導に取り組んでいく。
- ・⑱については、密を避ける為に授業参観が1回、体育参観(運動会代替)が1回の計2回しか実施出来なかった事が要因と考えられる。
- ・⑩は、本来100%でないといけない事なので、今年度評価がプラスになったが引き続きしっかりと取り組んでいきたい。

\* 自由記述で主なものとして

- ・学校の様子についてもっと知りたい。  
→学校としても見に来て貰いたいとの気持ちは例年と変わらないので、ガイドラインに沿って密にならないように工夫しながら取り組んでいきたい。

- ・ 休校措置がなされた後の学習進捗状況について  
→夏休み、冬休みの短縮等で、次年度に繰り越す履修内容は現段階ではないと考えている。  
残1カ月も学習内容を習得、定着出来るよう丁寧に繰返し学習を進めていく。
- ・ 登下校のマナーについて  
→登下校時、自転車のマナーについて、安全担当を中心に再度指導を各学級ごとに徹底していく。  
歩きスマホの危険性についても放送全体朝礼で話をしたところである。
- ・ PTA活動について  
→出されたご意見をPTA 会長に伝えさせて頂いた。  
殆どの方に任意加入して頂いてる状況である。
- ・ コロナ対策、今後のオンライン化について  
→健康調査票等はずでに紙ベースからオンライン化しており、拡大させるべき検討を進めている。  
タブレットも、伊丹市は他市に先んじて配付しており取組をスタートさせたところである。  
学校だよりや配布物にも、QRコードを付けてホームページにアクセスしやすいようにしたり、  
Wi-fi環境も整備完了しており、GIGAスクール構想に基づいて進めている。
- ・ 遅刻や忘れものに対して、もっと厳しくして欲しい。  
→正門前に時計を設置して時間が把握しやすいように改善した。  
時間に対する意識付けの指導を進めていく。
- ・ 笹ポーターへの御礼や励まし  
→九九の聞き取りの実施について多数感謝や御礼のことばがあった。  
次年度の継続希望も多数あった。

## ② 令和3年度学校行事(仮)について (席上配布 レジュメに記載を参照)

### \* ワクチン接種が始まり、ある程度収束を前提とした仮日程案として説明。

- ・ (4/9) 入学式については、新入学児、教職員、保護者(2名)のみの参加で実施  
令和2年度と同じく、来賓参加は自粛
- ・ 授業参観も、令和2年度同様に地区別分散解散を計画。
- ・ 体育大会を(5/29)の春開催へ変更  
(熱中症対策等を考慮し、2年前から修学旅行・自然学校の実施時期を秋に調整してきた)
- ・ 宿泊行事(修学旅行、自然学校)は10月予定・・・2年前より体育大会春開催に向けて移行済
- ・ 2学期始業式は、8/30と前倒し。
- ・ 音楽会は、令和2年度からスライド開催で11月に予定(コロナの状況で中止の可能性あり)  
(令和2年度は土曜の1日開催で全学年を予定していたが、コロナの状況で分散開催で検討)



### \* あくまで仮の予定であり決定ではないので、情報の取り扱いに注意すること

#### 意見・質疑応答

- Q, GIGAスクール構想とは？
- A, 国(文部科学省)の方策で、全国の小・中学校の生徒1人に1台のPCと、通信ネットワークを整備し、創造性を育む教育の実現を図る構想である。  
全国的にPCやタブレットが不足しており配付がまだの地域もある中、伊丹市は全校に配布されてすでに活用が始まっている。
- Q, 1人1台のタブレットということであるが、どんな使い方をしていますか？
- A, 例えば、授業などで調べる事がある時、今まではPCのある教室まで調べに行ったり、本や辞書で調べていたが、皆が移動することもなく、その場ですぐに調べられるようになったり、まとめ等も同時に出来るようになった。  
データも保存でき、容易に検索出来たりもできる。  
先生から問題等を一齐送信でき、回答を瞬時に受け取りスクリーンに映し出し発表できるなど効率の良い授業に繋がっている。
- Q, セキュリティーに関しては？
- A, 1人ひとりに、それぞれIDとパスワードが与えられている。

Q, 高校とかは、どのような状況ですか？

A, 先日にはタブレットを使用した授業の参観があり、教室前方のスクリーンに生徒の回答が投影され、それを基に発表等していたりしていた。

すでに、授業での活用が進んでいた。← 山本CSディレクター

A, 高校によっては、課題提出等ですでにタブレットで行われている学校もある。

- ・ 4・5月の休校時には、課題の受け渡しで保護者の皆様にかかなりの負担が生じていたが、タブレットの使用やオンライン化によって、再度休校のような事態になってもかなり負担が減少させられるのではないかと考えている。 ← 村上校長

Q, 自転車のマナーで、自転車専用レーンは低学年の子どもはかえって危ないと感じているが走行させないといけないのでしょうか？

A, 交通ルールとしては自転車専用レーンがある場合は、基本的に走行させるべきかと思う。危険を感じる場合は歩道も走行しても良いと思うが、逆走は絶対にさせてはいけない。

止むを得ず歩道を走行する場合でもルールがあるので、守るようにさせないといけない。

A, 交流会でも安全担当の先生からも出ていた案件であり、学校、PTA だよりなどで保護者にも家庭においてもルールやマナーの徹底の呼び掛けや発信をして欲しい。

Q, 遅刻が多いとのことであるが、学校でもっと指導はできないでしょうか？

A, 遅れると連絡がある場合は対応もしやすいが、8:30~9:00頃は結構インターホンの利用が多いのが現状である。なかなか生活リズムが合わせられない児童も増えてきている。担任の先生方も声掛けなどを行ない、遅刻を減らすように対応はして下さっている。

正門前に時計が無かったことにより時間が把握できなかったので、改善策として時計を設置した。

Q, 遅刻や忘れものは、複雑な問題もあるかもですが家庭にも一因があるのではないのでしょうか？

A, 自由意見のコメントの取り方によって、学校に責任を押し付けているようにも取られかねないようになってしまうこともありそうな気がする。家庭との連携も大事かと思う。

A, 学童保育においても、年々いわゆる「鍵っ子」が増えてきているのは感じている。

保育所を卒園しすぐ入学した1年生の子どもで、泣きながら鍵を閉めてくる子もいる。時代の背景もあるが声掛けをしながら見守りしている。一概に家庭の原因と言にくいと思う。

A, 親としても家庭での躰と分かっている、出来ない為に学校に助けを求めているのかも知れないとも読み取れる。学校、家庭双方で考えていかないといけない課題ではないかと思う。

Q, 遅刻や忘れものに対する対応は？

A, 学校としては、子供たちに自分でなんでも出来る力をつけさせていきたいと思っている。

昭和の時代みたいに罰とかは今の時代出来ないで声掛けをしながら自主性を重んじている。遅刻に関しては共働き家庭の増加で保護者より後に家を出てくる子ども多くなり、保護者としては学校に頼るしかないのかも知れないと考えられる。(学校は家庭でと齟齬があるのかも・・・)

Q, 遅刻の多い児童は、学校として把握していますか？

A, 把握はしている。

なかなか学校に来にくい児童で、遅れながらも学校に一生懸命来ている子もいる。

現在、全くの不登校児童は笹小にはいないが、友だち同士で迎えに行ったり、近所の方の声掛けで登校してる子もいるので注意深く見守っている。

A, 遅刻による登校の場合、旗当番等見守りの方がいないので気をつけて欲しい。

\* 3月19日に卒業式を行うが、コロナの影響でご来賓の皆様には自粛をお願いし、卒業生、保護者2名、教職員のみ参加、式次第短縮しての挙行とする。

### ③ 令和3年度 重点取組事項について

(令和2年度)

- ・ 学校と地域のさらなる連携
- ・ 学びにふさわしい環境づくり

令和3年度も、上記2つの方針を基に継続した活動を実施する。

\* 前回の交流会において、打ち出された会長方針

①九九については、令和3年度も実施する。

②要望の多かった掃除については、本日の協議会にて検討する。

③クラブ活動については、再開されれば支援していく。

\* この方針を受けて、どう進めていくか討議・検討を進めた。

特に掃除については、実施するかどうかの判断をして欲しいとの会長提案があった。

① 九九について

- ・今年度実施し高い評価を頂いたので、令和3年度も引き続き行うことを確認。  
参加委員からは、特段異論もなく同意を得た。
- ・実施時期は、今年度同様に九九の授業が行われる10月～11月頃を予定。
- ・活動方法等は、令和3年度の運営協議会にて詰めていくこととする。

② 掃除について

- ・支援を実施するかどうかについては、支援していくことで検討を開始することとする。
- ・出来れば要望に沿って、新年度開始(4月)から支援をスタートさせたい。
- ・笹ポーターの呼びかけ(募集)の実施。
- ・先生方のマニュアルを委員側にも用意して頂く。←(教頭先生)
- ・3月中に実際の清掃風景を見させて頂いて現状認識をする。(マニュアル参考に)
- ・特に支援して欲しい清掃箇所をピックアップ←(先生方へヒアリング、絞り込み)
- ・ピンポイント(清掃箇所、時期等)ではなく、学校全体を1年を通した活動になるので、スケジュールや具体的な支援方法は、視察内容を踏まえて次回運営協議会にて決めていく。

③ クラブ活動については、令和3年度の実施状況を見極めて判断していくこととする。



Q、九九は結果的に評価は良かったと思うが、本当に先生方の役に立てているのか、負担が減っているのか？逆に気を使わせてないか不安もあるがどうでしょうか？

A、九九に関しては、先生方の方からは本当にやって頂いて助かったという声の本音である。40名近いクラスの子どもの聞き取りを休み時間や放課後に行っていたが、どうしても時間が足りずに、1人ひとり丁寧に聞いてあげたいけど出来ていなかったのが現状であった。時間が多く割かれることで、次の授業の準備等にも手が回りきらず負担が相当あるのも実際に、今回は他のことに時間が回せて助かったと感謝している。九九は算数の要であり2年生で躓くと後の学年で厳しい状況になるので、全体の底上げにも繋がっている。

Q、清掃についても何を目的として支援するのかをはっきりさせた方が、笹ポーターにも協力の呼びかけをしやすいと思うが？ただ支援するのと、少しでも先生方の負担を減らしていく為にどのような意義をもって支援するのか立ち位置を明確にした方が良いと思うがどうでしょうか？

A、深く考えて活動して頂いていることに感謝している。ただ困っていることを助ける事だけでなく、基本が出来るようになることは勿論の事、挨拶等の礼儀、褒めてあげることでやる気を引き出して頂くなど波及効果も大きく、学校と地域とで子どもを育て成長させていくことの大事さを実感している。相乗効果で子どもたちにも心の大きな財産となっていくと思うので、掃除が出来るようになるだけでなく、皆で褒めてあげて伸ばしてあげて欲しいと思っている。

A、負担になってはいけませんが、九九や雑巾製作みたいに楽しみながらやって頂ければと思う。

A、交流会で3年生の先生が仰ってられた事が心に残っているが、コロナの影響もあって子どもたちも人恋しく思っているところもあるので、地域として掃除を通してそういう子どもたちの安らぎを与えられたら良いなあと思う。

Q、高学年の先生方からの清掃支援要望が多かったが、どこを中心に支援したらよいと思うか？高学年は今まで掃除をしてきているので、低学年に入った方が良いと思うがどうか？

A、個人中心になってきており、小集団で行うこと様な事が減ってきていることも出来ないことの



一因では、目標を決めて、皆で努力して出来た時の達成感を味わうことも大事と思う。

A, 1年生の掃除は、6年生が見てあげたり教えたりしている。

A, 掃除は、小学校だけではなく中学、高校でも行うことであり、基本をしっかりと習得出来れば本人はもとより、中学、高校も教える手間が省略出来助かるのではないかと思う。



\* 討議、検討を受けて

- ・ 年初からの支援要望を受けて4月スタートだと遅れてしまうので、3月中に委員側数名と掃除担当の先生方とで打合せの会議(話し合い)を設定する。
- ・ 打合せ後、委員は掃除を見学させて頂き、現状把握を行なうことにする。  
(日程については、複数日を提示して頂く。→教頭先生に一任)



\* 具体的な支援方法等は、3月の結果をもって4月以降に決定していく。

- ・ まずは底上げを目標として、出来ていない個所をよくしていく方向で取組んでいくことで進めていく。
- ・ 老人会にも声掛けをしていく。(渡瀬委員に相談)
- ・ PTAさんにも協力依頼(有志募集など)、多くの団体に声掛けしていく。

## (2) 学校運営協議会だより「笹っ子応援団」第5号について (席上配布資料参照)

- ・ 3月中には発行予定(6年生が卒業までに)
- ・ 令和3年度の活動内容(本日決定事項)を追記する。
- ・ 文言、写真等でご意見のある方は、校長先生まで連絡のこと。
- ・ 1900枚程度発行を予定。

## (3) 令和3年～4年度 笹原小学校学校運営協議会委員について

- ・ 3月末で、現委員の任期が終了するが、引続き3年～4年度委員を継続して頂きたい。
- ・ 充職の団体代表の方は、交代時に時期代表の方に委員を引き継いで頂きたい。
- ・ 承諾書を2月中に提出願いたい。
- ・ 会長は、宮内委員に継続して頂くことで全員一致。

## (4) その他

\* スポーツクラブ21笹原より令和2年度は新規募集をせずに活動を行なったが、令和3年度は従来通り、新規会員を募集しての活動を再開していくとの案内があった。

市立伊丹高校 山本CSディレクター

\* 学校を良くしようという思いが非常に強く伝わった会議で、先生方に配慮しながらの取組姿勢もよくわかり、すごく参考となりました。ありがとうございました。

荒川CSディレクター

活動も定着しつつあり、次年度も引続き宜しく願い致します。市立伊丹高校の山本ディレクターさんも高校のCSは大変かと思いますが、今後も連携していければ良いなあと思っておりますので宜しく願いたいと思います。本日もお疲れさまでした。ありがとうございました。

## 5 閉会

時間)